

三重県知事 宛て

高校生等奨学給付金受給申請書（専攻科）

【申請者（生計維持者 原則父母）】（□には該当する箇所にし点を付けてください。）

ふりがな		生年月日	生徒との関係	☐ 生計維持者（父） ☐ 生計維持者（母） ☐ 主たる生計維持者（父母以外） ☐ 生徒本人 ☐ その他（ ）
名前		年 月 日		
住所	〒 電話番号： — — （※日中連絡可能な番号を記入してください） 三重県			

【申請者以外の生計維持者（原則父母）】（□には該当する箇所にし点を付けてください）

ふりがな		生年月日	生徒との関係	☐ 生計維持者（父） ☐ 生計維持者（母） ☐ 主たる生計維持者（父母以外） ☐ 生徒本人 ☐ その他（ ）
名前		年 月 日		
住所	〒 電話番号： — — （※日中連絡可能な番号を記入してください） 三重県			

【対象となる生徒等】（□には該当する箇所にし点を付けてください。）

ふりがな			生年月日	在学中に給付金を受給した回数 ☐ なし ☐ 1回 ☐ 2回 ☐ 不明			
名前			年 月 日	在学期間	年 月 ～ 年 月 卒業見込		
在学する学校	種類	学校名	学年	種類・課程 ☐ 高等学校 ☐ 中等教育学校（後期課程）	課程・学科	専攻科	
	私立		年				
過去の高等学校等における在学期間	☐ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立	学校名	課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	なし ☐ 1回 ☐ 2回 ☐ 不明 ☐		
			専攻科	在学期間	年 月～ 年 月		

【申請額】（□には該当する箇所にし点を付けてください。）※物価高騰による上乗せ給付額を含む

世帯種別	申請区分	申請額
（ア）道府県民税所得割及び市町村民税所得割非課税世帯	（ア） ☐	52,550円 （年額52,100円） （上乗額450円）
（イ）道府県民税所得割及び市町村民税所得割の合算額 105,500 円未満の世帯 ※（ア）を除く	（イ） ☐	10,520円 （年額10,420円） （上乗額100円）
（ウ）道府県民税所得割及び市町村民税所得割の合算額 264,500 円未満かつ扶養する子が3人以上いる世帯 ※（ア）（イ）を除く ※扶養親族申告書の提出が必要 ※課税証明書は扶養親族の状況が記載されたものが必要	（ウ） ☐	10,520円 （年額10,420円） （上乗額100円）

裏面も必ず記入してください

様式1-専攻科（裏）

次のことを誓約（同意）の上、高校生等奨学給付金を申請します。

※次の6点を確認の上、□にシ点を付けてください

☐	- この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。 - この申請書に虚偽の記載があった場合は、三重県の求めに従いその全額を即時返還します。 - 私は三重県以外の都道府県に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。 - この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。 - 審査に必要な事項について、自治体、福祉事務所、高等学校等へ照会することに同意します。 - 当該申請について提出した書類の返却を求めません。
--------------------------	---

【生計維持者等の収入の状況について】（該当する□にシ点を付けてください。）

次の者の課税証明書を提出します。		
①	☐	生計維持者（父母）2名分 （満18歳となる日の前日において里親等に委託されていた場合、児童養護施設等に入所していた場合、そのほか社会的養護が必要と認められる場合は③又は④のいずれかの□にシ印を付けてください。）
②	☐	☐ ・離婚、死別により生計維持者が1名の場合
		☐ ・父母2名が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、父母の1人の課税証明書を提出できない場合 [理由]
③	☐	主たる生計維持者1名分 ・父母が存在しない場合等で、主として生徒の生計をその収入により維持している者がいる場合 【誓約欄】基準日現在、私（申請者）が対象生徒を扶養していることを誓約します。 申請者（生計維持者）氏名 _____
④	☐	生徒本人 父母又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合